



帯小の窓

帯広市立帯広小学校
Obihiro Obihiro
Elementary School
平成30年10月12日
NO 21

「見せる化」と「改善」で 一歩前へ

「教育の成果を子どもの姿で示し 家庭・地域との信頼ときずなをさらに深める」

ダイナミックかつ繊細に 人とのかかわりを自分たちの成長につなげる



まずは読み聞かせから 4年生



縁日ラリー さすが手慣れた6年生



理科実験学習(宿泊学習で)5年生

ゲームの説明をする事務局のメンバー(全校集会)



今年からはお兄さんお姉さんの役 3年生



学習の成果を発表 2年生 このあと交流



学年関係なく全校で楽しく交流(全校集会)

五年生が三日(水)無事に宿泊学習を終えました。私は二日(火)の夕食時にお邪魔しましたが、係の子どもたちがしっかりと準備・後片付けを行い、ほのぼのとした楽しい雰囲気の中で夕食が進んでいました。ごはんを三〜四杯おかわりする猛者もいて元気そのものでした。来年は修学旅行です。泊を伴う実習で心構えはできたことと思います。

さて、帯広小学校のホームページをいつもご覧のみなさんにはすでに周知のことと思います。(学校のできごとや行事などは画像とともにほぼリアルタイムにお知らせしています。)

学校便りでは後を追うように、その趣旨や私なりの感想も含め少し詳しくお伝えできればと考えていますのでお付き合いください。九月二十八日(金)には前期児童会書記局最後の取組、全校集会がありました。

(写真上右)企画・立案・準備・運営とさすが、有言実行の事務局のメンバーでした。先生方のサポートがあったとはいえ、限られた時間に全校児童が楽しめるような工夫をし、自分たちのお楽しみは度外視して進行する献身に、『おとなだな。』という感想をもちました。

また、本校の特色ある教育活動の一つかけはし活動も進みました。

裏面へつづく

二日(火)は二年生が「愛の家グループホーム」、三日(水)は四年生が「藤花保育園」、四日(木)は三年生が「きたのくにこども園」、六年生が「鉄南保育園」、十日(水)は一年生が「シルバーヒルズくるる」をそれぞれ訪問し、お年寄りや園児たちと有意義な交流を行ってきました。園児には優しく接し遊んであげること、お年寄りには自分たちの元気を表現し、ともに笑顔になれることを大きな目的としているように感じさせられた時間でした。ここ数年は道徳科の学習との関連で、道徳的实践意欲を育んだり、実践力の表現の場として計画的に行われている活動です。自分より年下の子の扱い、お年寄りへの配慮など思うようにいかないことや、思った以上に喜んでいただけたり、感謝されたりしたことは子どもたちの心にも刻まれることと思います。改めて、毎年快く受入れてくださっている各施設の方々にもお礼申し上げたいと思います。



かるた取りではおじいちゃんおばあちゃんを応援 1年生

帯小教育活動 MEMO

「かけはし活動」はいつから？

帯広小学校の特色あるもう一つの教育活動に「たてわり活動」があります。1～6年生をたてわりの8つの班に分けて「ワクワク大作戦(USO)12月」「遊びの集会5月・さよなら集会2月」「校区清掃7月」を年間計画に位置付けて行っています。

現在の「かけはし活動」は平成22年度から始まり平成26年度までは、上の「たてわり活動」として行われていました。平成27年度から各学級の活動として生活科・総合的な学習の時間の中で今の形で行われ続けているものです。

文字通り子どもたちと地域を結ぶ「かけはし」となる活動となっています。



5日(金)5校時の道徳科の授業の様子です。子どもたちが自分の考えを友達や先生にも伝え深めています。「がんばりつづける力」という難しい主題について、「こぐまのらっぱ」というお話を通して考えました。

よりよい授業・指導力向上を目指して
一年一組で校内研究授業

縄跳び検定終わる！



廊下のパネルにカードをクリアした多くの顔がならんでいます。

短期間、集中して取組んだなわとび検定は、先週をもって終了しました。この間、朝の活動や休み時間、体育の時間などを利用し、全校で一斉に縄跳びに取組んできました。カードのクリアは副産物、目的ではありません。体を動かす爽快感や継続することでスキルアップできることを体得することが第一の目的です。ですから、クリアに至らなかった子どもも、どのように取組んできたかが最も重要です。さらに日常化できると体力アップにもつながります。

